

2017-B

VI103B

拠出金・基金  
の名称

政府間開発機構(IGAD)拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】政府間開発機構(IGAD)

【所管官庁担当局課・室名】外務省中東アフリカ局アフリカ部アフリカ第二課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

1 南スーダンにおける衝突解決合意の再活性化を図るためのハイレベル再活性化フォーラム(HLRF)支援。衝突解決合意(ARCSS)の合意事項を履行するための活動支援で、南スーダンの平和と安定を促進することを目的としている(3,600千米ドル)。  
2 ソマリアにおけるアル・シャバーブ戦闘員及び勧誘対象の若者の解放、脱過激化、社会復帰及び再統合に関するコミュニティ指導者の能力構築支援。具体的には、ソマリアの宗教指導者・学者、コミュニティ指導者、若者指導者、女性団体指導者、学術団体、メディア及びCSO等代表を対象としたワークショップを開催(150千米ドル)。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	412,500	3,750		1米ドル=110円	100
平成28年度	28,800	240		1米ドル=120円	100
平成27年度	140,250	1,275		1米ドル= 110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国は、対アフリカ外交の柱として、TICADプロセスを推進。同プロセスでは、開発の前提として平和と安定の促進に焦点を当てている。2016年のTICAD VIナイロビ宣言では「繁栄の共有のための社会安定化の促進」が3本柱の1つとされており、アフリカの角地域において不安定要素である南スーダン及びソマリア情勢に貢献することは、我が国のアフリカ外交にとって重要。

IGADは、特に南スーダンの和平プロセスに貢献しており、2018年9月に、関係者が「再活性化された衝突解決合意」に署名に至ったことは高く評価できる。

【備考】